

5. 市民等の意向把握（アンケート・ヒアリング）及び堺臨海部活性化検討懇話会の概要

5.1 意向把握（アンケート・ヒアリング）の概要

(1) 目的

ビジョンを策定するにあたり、素案の作成段階から、日頃、堺の臨海部で様々な活動を展開している市民、漁業者、NPO、企業等、小学生から臨海部の現状・課題、要望・提案を広く聴き、可能な限りビジョンに反映していくことを目的としました。

(2) 対象と手法

- ・市民：アンケート
 - 平成 22 年度市政モニター「臨海部の新たなまちづくりについて」
- ・自治会組織：意見交換
 - 堺区自治連合協議会
 - 西区自治連合協議会
- ・漁業関係者：意見交換
 - 堺市漁業協同組合連合会
 - 堺市浜寺漁業協同組合
- ・NPO・市民団体等の団体組織（市 HP で意見交換希望団体を募集、個別依頼）：意見交換
 - 堺旧港周辺を考える会
 - 大阪自然環境保全協会
 - 浜寺公園自然の会
 - 釣り文化協会
- ・臨海部立地・活動企業：アンケート
- ・小学生：アンケート
 - 各区高学年 1 学級を任意で抽出

(3) 対象とする事項

- 堺臨海部における賑わい・憩いづくり、海陸での環境創造・保全に係るハード、ソフト施策
- ・ハード施策例：砂浜、干潟、生物配慮護岸、緑地など海域・陸域での自然環境整備・保全、臨海部へのアクセス、遊歩道等の整備 など
 - ・ソフト施策例：環境学習、漁業体験、産業・漁業観光、清掃活動、研究開発活動、イベント・クルーズ運航、景観配慮、地球環境への取組み、CSR 活動 等

(4) 時期

- ・1 回目（平成 23 年 6 月～7 月）：ビジョン策定前の状況把握
- ・2 回目（平成 23 年 10～12 月）：ビジョンのたたき台に対する意見把握
（市政モニターは平成 23 年 1～2 月に実施）

5.2 堺臨海部活性化検討懇話会の概要

(1) 目的

堺臨海部における賑わい、憩いづくり等の諸課題に対応し、更なる堺臨海部の活性化を図ることを目的とするビジョンの策定について検討するに当たり、広く有識者等から意見・提言・助言をいただくことを目的としました。

(2) 委員（50 音順）

氏名	所属・職名
近藤 健雄※	日本大学理工学部 海洋建築工学科 教授
下村 泰彦	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授
狭間 恵三子	(財)大阪観光コンベンション協会 情報発信担当部長
藤本 英子	京都市立芸術大学 美術学部デザイン科・大学院美術研究科 教授
矢持 進	大阪市立大学 大学院工学研究都市系専攻・工学部都市学科環境水域工学 教授

※座長

(3) 経過

<第 1 回>

日時：平成 23 年 7 月 25 日（月）、午後 1 時～3 時（現地視察）、3 時 15 分～5 時
場所：府営浜寺公園（西区浜寺公園町 2 丁）内 レストハウス浜寺 2 階大会議室
議題：堺臨海部活性化検討懇話会の趣旨と目的について

堺臨海部活性化検討～現状・課題・基本理念等について～

<第 2 回>

日時：平成 23 年 10 月 12 日（水）、午後 2 時～4 時
場所：市役所 本館 3 階 第 1 会議室
議題：第 1 回懇話会における意見と対応について

堺臨海部活性化検討～臨海部の活性化方策について～

<第 3 回>

日時：平成 23 年 12 月 14 日（水）、午後 2 時～5 時
場所：市役所 高層館 20 階 第 1 特別会議室
議題：第 2 回懇話会における意見と対応および臨海部活性化等について
施策展開、目標、検討事項等について
堺臨海部活性化検討のとりまとめについて